

谷本社長への質問内容：チャットで出たすべての質問：

① 早上がり制度の導入では、賃金は変わらないのですか？

➡ 変わらない。

② 連絡せずに退職することも可能なのに、有料？の代行業者に依頼してまで連絡をする理由（依頼理由）は何故か。件数や属性の経緯や推移など統計データはありますか。

理不尽なことは論外だは、別にして、唱和や朝礼ほか慣習など、退職に至らないように入口（面接・採用時）で留意すること、判断するヒントはありますか。

➡ バックレると退職後も自宅に押しかけられたり、嫌がらせなどが続くことを恐れている方や、純粋に自分では伝えられないが、お金を払ってでも最後は誠意のある対応をしたい方などがいるため。

③ 退職出来ない、されない場合などでの企業側から法的手段を取られる、トラブル事例はありますか。

➡ 40,000 件対応してきて、法的手段を取られた事例も退職できなかったケースはこれまでになかった。依頼時に退職とは関係のない会社とのトラブルを抱えている方は、弁護士を紹介している。

④ 依頼から代行まで即時対応されるかと思いますが、依頼から支払いまでの流れと（お話しいただける範囲で）代行料金はいくらくらいなのでしょう。

➡ 12,000 円～22,000 円

⑤ 明らかに、ハラスメントの違法行為と思われる場合に、企業側には、認められないものですか？

➡ 企業が認めない。

⑥ 唱和等、昔の企業、昔のやり方がありますが、創業者の思いや、会社の思いを伝えたいという大企業がありますが、日本の良さと言う人もいますが、そういう場合は、どうしますか？

➡ それはそれで良いと思う。ただ、唱和する意図を若年層に理解してもらう必要はある。

⑦ 相談者に問題はないですか？

➡ 2:6:2 の比率で、相談者に問題がある場合があるが、自己都合の場合もある。

- ⑧ モームリのお客様で、リピート率はどうですか？
- ➡ リピート率 3%程度、一般的には、20～80%である。
- ⑨ 唱和や朝礼ほか慣習など、退職に至らないように入社（面接・採用時）で留意すること、判断するヒントはありますか。＜離職防止のための面接・採用時の留意点＞
- ➡ 企業側も労働者側もお互いに良く見せようとしすぎないこと。良い部分だけではなく、悪い部分も包み隠さずありのまま伝える。
- ⑩ 企業側での退職に至らないための防衛策として、面接や人選する際の留意点や人物評価するポイントはありますか。＜離職防止のための人物評価留意点＞
- ➡ ⑨と重複するが、良い部分だけではなく、悪い部分も含めてすべてを伝える。面接の短時間で本質を見極めることは難しいと思う。
- ⑪ 利用者の皆さんには周囲に相談するところ（行政機関や労働組合など）はなかった、中々たどりつくことが出来ずにサービスを利用するに至ったのでしょうか。
- ➡ 周囲に相談できる環境ではない方の利用が 8 割くらいの印象。行政機関や労働組合へ相談後に利用される方も一部入るが、退職代行よりも敷居が高いと感じてる方が多い。
- ⑫ 新卒採用できない（人気がない会社）や、ブラック企業が入社時にうそをついてZ世代が入社してしまうのでしょうか。（結局、大手企業に入社するのが安全・安心だと考えそうですね。）
- ➡ 企業側の虚偽の情報を信じて入社してしまう方も一定数は存在している。人員不足や採用が上手くできていない企業に多い傾向は出ているが、大企業だからといって安心できるとは言いきれないのが現状。（本社はきちんとしているが、支店や営業所まで管理が行き届いていないケースも散見される。）
- ⑬ どんな人が（⑫のような）ブラック企業に入社してしまうのでしょうか？ 特徴があれば教えて下さい。
- ➡ 企業情報をよく調べていない方はそういった企業に入社してしまうことはある。
- ⑭ Z 世代は、どうやってブラック企業を見分ければ良いのですか？
- Web 上の口コミサイトでしょうか。他にも見分けポイントはありますか。
- ➡ Google マップの口コミは重要視する必要がある、他には企業ホームページの情報でブラック企業に多い傾向などもわかる。
- 例）社長・社員の顔・名前などが全く掲載されていない。無料素材のみなど。（あくまで一例）

⑮ 御社は「業界ナンバーワン」とおっしゃいましたが、同業者はどれほどあるのでしょうか？

➡ 個人の退職代行業者も含めると恐らく 100 社以上。

⑯ 資料 P14 の 1 番目と 4 番目の退職者の理由内容が同じですが、同じ会社の人なのでしょうか？

➡ 失礼いたしました。重複した内容となっております。

⑰ 御社の業務内容で、実際に退職代行のやり取りをされる従業員の方が精神的につらくなったことはありませんか。そのフォローはどのようにされていますか

➡ 定期的に面談をする。異動願いや希望があれば、即日対応する。

⑱ 利用者は「Z 世代」に多く見られるのでしょうか？代行利用される他の年齢傾向は？

➡ 資料のとおり Z 世代に多い。その他、高年齢者など。

⑲ 利用者のその後をフォローしていますか？

➡ 提携企業を含め、さまざまな対応（スライド 3）、転職サポートまでフォローしている。

以上